生産性革命
by インフラ
第4次重点計画

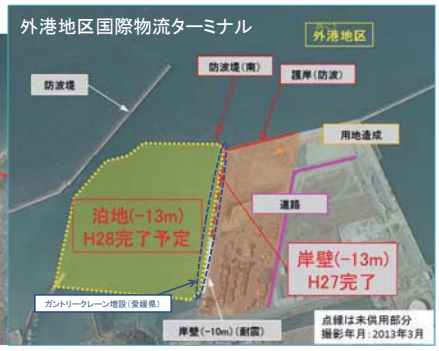
愛媛県

松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業

大型船による輸送効率化で産業活動を支援

現在 now ››› 将来 future

インフラ



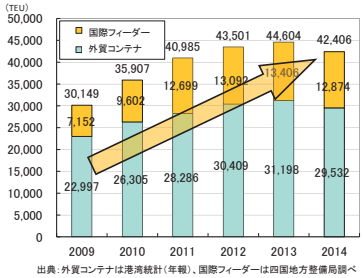
平成28年度 供用予定

外港地区背後用地(11ha)の売却状況

地域

外貿コンテナ・国際フィーダーコンテナ貨物

松山港のコンテナ取扱個数の推移



出典:外貿コンテナは港湾統計(年報)、国際フィーダーは四国地方整備局調べ

岸壁(−13m)の整備に合わせ、愛媛県にてガントリークレーンを整備することにより、国際フィーダーコンテナ貨物の更なる取り込みを図る

過密状態のコンテナバース

石炭等のバルク貨物

新居浜港でトラックへ積み替えて輸送

大型の石炭船等の就航に対応

輸送コスト
3.5億円/年
削減

松山港へダイレクト輸入!

背後企業の生産性向上

- 臨港部に化学、繊維、電気機器等の幅広い産業が集積している松山港で、大型船に対応した岸壁・泊地(−13m)等を整備
- 国際物流ターミナルの整備に合わせ、ガントリークレーンを整備(愛媛県)し、近年増加傾向である国際フィーダーコンテナ貨物※の更なる取り込みを図る
- 他港でトラックへ積み替えて輸送している石炭のダイレクト輸入が可能となり、輸送コストが3.5億円/年削減し、企業の生産性向上に寄与
- 外港地区背後用地(11ha)への企業進出も好調で、今後、更なる港湾利用・雇用の創出が期待

※国際フィーダーコンテナ貨物: 国際コンテナ戦略港湾等で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出入されるコンテナ取扱貨物。

松山港背後に立地する代表的な企業

東レ(株)

炭素繊維の世界シェア第1位
(世界シェア約40%)
(ボーイング等の航空機等に使用)

○東レ(株)愛媛工場では炭素繊維を年産7300トン
→2015年3月までに9300トンに増強

平成24年3月9日 日本経済新聞(1面)